

# 日本体育学会第70回大会案内

## 目 次

- 大会要項 ..... 3
- 大会予稿集原稿作成要項 ..... 9
- 一般研究発表コード表 ..... 10
- コード表に関するお問い合わせ先 ..... 16
- よくあるご質問 ..... 17
- 宿泊・交通のご案内 ..... 20

〔付録〕 日本体育学会第70回大会派遣方依頼書

## 第70回大会での注意点

- ・ 事前参加申し込みは、原則として、大会ホームページからのみとなります。
- ・ 研究発表について一般研究発表に加えて領域横断セッションを設けました。いずれの申し込み（予稿集原稿の提出も含む）も、大会ホームページからのみとなります。
- ・ 大会参加費のお支払いは、「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」、「ペイジー決済」が利用できます。詳細は、参加申し込みサイトでご案内します。これに伴い、払込取扱票の綴じ込みは行っておりませんので、ご了承ください。
- ・ 予稿集は、電子ファイル（PDF）で配布します。冊子体（有料）を購入される場合は、参加申し込み時に発注の上、大会会場にてお受け取りください。
- ・ 慶應義塾大学には外来者用駐車場がありませんので、ご来校の際は、公共交通機関をご利用ください。（なお、障がい者用の駐車場については別途対応いたします。）

# 日本体育学会第70回大会開催にあたっての挨拶

日本体育学会第70回大会は2019年9月10日（火）～12日（木）の3日間、

慶應義塾大学日吉キャンパス（神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1）

を会場として開催させていただくことになりました。

慶應義塾大学における日本体育学会大会は、1962年（昭和37年）以来実に57年ぶり2度目の開催となります。1858年の開学から160年を経る慶應義塾において日吉キャンパスは7学部・3大学院研究科と高等学校を有する教育の基点であり13,000余名が学んでおります。東急線と横浜市営地下鉄線の駅に直結する立地と創立150年を機に新装された校舎・施設で、全国から参加される会員の皆様をお迎えできることを喜ばしく思います。

本学会大会では、「学問とは実学，すなわちサイヤンス」をテーマとしました。慶應義塾の創始者である福澤諭吉は「学問とは実学，すなわちサイヤンス。これすべて人間交際のため」と述べました。実学とは単に“社会生活に実際に役立つ学問”とされることもありますが、福澤がいう実学はすぐに役立つ学問ではなく、「科学（サイヤンス）」を指します。つまり、実証的に真理を解明し問題を解決していく科学的な姿勢が「実学の精神」です。さらに「人間交際—じんかんこうさい」とは Society を指し、サイヤンスによって人と人とのつながり、社会のあり方がより良くならねばならないことが意図されています。

時が経ち現在、わが国で2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズ関西大会という世界的なスポーツイベントが連続的に開催される運びであり、スポーツによる平和や共生の実現が世界から求められています。そこで、70回を重ねた日本体育学会は、築いてきた「科学（サイヤンス）」によって今こそ社会の課題と向き合い、体育・スポーツの社会的役割を明確に示していく必要があると考えます。本大会は、我々が人間交際を担うサイヤンス集団として、これから何を視野に持ち、国民や世界に何を発信すべきなのか共に考える場としたいと思います。

また、本大会の新たな企画として「領域横断セッション」を設けました。これは一般研究発表に加え、特定のキーワードを軸に領域を超えたポスターセッションを行うものです（詳細はp.5を参照ください）。領域を超えた討論と交流の場を持ち、専門領域に分化した研究を再び統合して体育学の発展を目指したいと考えます。新企画への発表も含め、会員皆様の多数のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2018年12月1日

日本体育学会第70回大会組織委員会  
委員長 石手 靖



# 大会要項

## 大会テーマ「学問とは実学，すなわちサイヤンス」

### 1. 日程

2019年9月10日（火），11日（水），12日（木）

3日間にわたり，研究発表（一般研究発表・領域横断セッション），キーノートレクチャー，シンポジウム，各種企画などを行います。

### 2. 会場

慶應義塾大学日吉キャンパス（神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1）

東急東横線／東急目黒線，横浜市営地下鉄 日吉駅より徒歩1分

**〔注意！〕 自家用車でのご来校はご遠慮ください。**

### 3. 大会ホームページ

2018年12月に開設しました。日本体育学会のホームページにリンクしています。

**大会ホームページ** (<https://ipe.hc.keio.ac.jp/jspe70>)

### 4. 申し込み期間と申し込み方法について

#### 1) 申し込み開始（予定）日

2019年4月1日（月）10：00から

#### 2) 申し込み締め切り日

2019年5月17日（金）13：00まで

#### 3) 申し込み方法

**【事前参加申し込み】** 対象者：大会参加のみ，共同研究者，特別共同研究者

- ・大会ホームページ上の「事前参加申し込み」からお申し込みください。
- ・当日での参加は混雑が予想されるため，事前での参加申し込みをお願いします。
- ・事前参加申し込み後，大会参加者マイページから「一般研究発表」および「領域横断セッション」の登録を行うことが可能です。

※大会参加のみの方で，大会ホームページからの申し込みが困難な場合は，学会本部事務局（TEL 03-3481-2427）へお早めにお問い合わせください。

**【一般研究発表申し込み】** 対象者：演者のみ

- ・大会ホームページ上の「一般研究発表申し込み」からお申し込みください。
- ・お申し込みの前に，「5. 研究発表の種別」「6. 研究発表を申し込まれる方へ」をご参照ください。
- ・「事前参加申し込み」の手続きも含まれています。

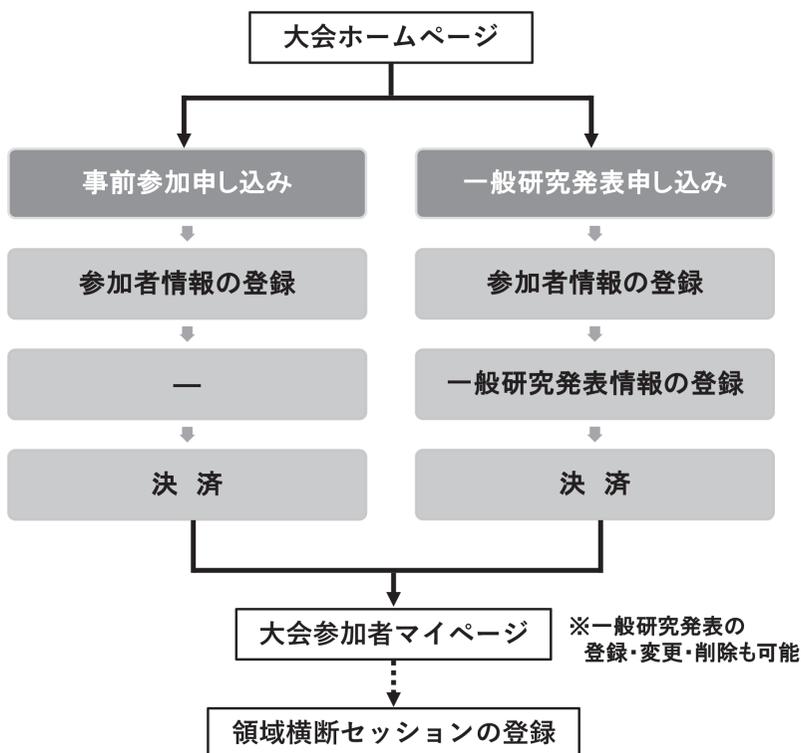
- ・一般研究発表申し込み後、大会参加者マイページから「領域横断セッション」の登録を行うことが可能です。

【領域横断セッション申し込み】対象者：事前参加申し込み後の会員

- ・「事前参加申し込み」または「一般研究発表申し込み」後に付与される大会参加者マイページからお申し込みください。
- ・お申し込みの前に、「5. 研究発表の種別」「6. 研究発表を申し込まれる方へ」をご参照ください。

※発表形式は、ポスター発表のみとなります。一般研究発表とは重ならない時間帯にセッションを設けます。日程が決まり次第、大会ホームページに掲載いたします。

#### 4) 申し込みフロー



#### <研究発表申し込みのパターン>

A：一般研究発表のみ申し込み

B：領域横断セッションのみ申し込み

C：一般研究発表と領域横断セッションに異なる研究発表を1演題ずつ申し込み

※一般研究発表と領域横断セッションへの申し込みは、「5. 研究発表の種別」「6. 研究発表を申し込まれる方へ」をご参照の上、ご自身で希望する研究発表をご選択ください。

## 5. 研究発表の種別

本大会では、一般研究発表に加え、専門領域を横断するテーマ別発表を設けます。

### 1) 一般研究発表

15の専門領域（コード表の類0～14）から選択して申し込んでください。

### 2) 領域横断セッション

以下の3つのキーワードを軸に、領域を越えて多角的に議論するとともに研究者の交流の場となることをねらいとしています。発表形式はポスター発表のみとし、一般研究発表と重ならない時間帯にセッションを設けます。

キーワード1：オリンピック・パラリンピック

// 2：大学生

// 3：トレーニング

## 6. 研究発表を申し込まれる方へ

研究発表の内容は、体育学に関する研究であって、未発表のものに限ります。また、研究発表の演者としての登壇は、一般研究発表、領域横断セッションそれぞれに、お一人さま1回に限ります。発表申し込みにあたっては、下記をご確認ください。

※一般研究発表、領域横断セッションには、異なる研究発表を1演題ずつ申し込むことが出来ます。

※キーノートレクチャー、シンポジウムは発表申し込みの必要はありません。

### 1) 発表申し込み資格

演者、共同研究者（大会に参加しない者も含む）とも日本体育学会会員で2019年度年会費および第70回大会参加費を納めていることです。ただし、日本体育学会理事会に特別共同研究者登録を承認された共同研究者はこの限りではありません。

### 注意事項

※学部生は演者・共同研究者になることはできません。但し、特別共同研究者登録の申請は可能です。

※共同研究者（特別共同研究者を含む）は、大会ホームページから「事前参加申し込み」が必須となります。

※演者・共同研究者・特別共同研究者の大会参加費未納および演者・共同研究者の、2019年度の学会年会費未納が判明した場合、発表演題は取り消しとなります。

※年会費が2年連続して未納の場合は会員資格が失効しておりますので、申し込み前に有効な会員であるかどうかご確認ください。

### 2) 発表申し込み締め切り

2019年5月17日（金）13：00まで

### 3) 特別共同研究者申請

特別共同研究者となるには、本学会以外の学会に所属している必要があります。特別共同研究者申請を希望される演者の方は、2019年4月26日（金）までに大会ホームページの「特別共同研究者の申請」より必要事項を入力してください。申請後、理事会で審議されることになります。審議の結果については、後日事務局より演者の方にご連絡させていただきます。特別共同研究者は、本学会の年会費は不要ですが、学会大会参加費10,000円の支払いが必要になります（お支払い期限：2019年5月17日（金））。

※特別共同研究者は本学会の会員ではありませんので、学会大会の参加以外は会員としての権利はありません。

### 4) 大会予稿集の原稿

大会予稿集の原稿は、「一般研究発表申し込み」または「大会参加者マイページ」からご提出いただきます。原稿の作成にあたっては、大会予稿集原稿作成要項（p.9）および一般研究発表のコード表（p.10）をよく読んで、間違えのないように作成してください。

### 5) 発表形式

一般研究発表では各専門領域の方針によりますが、口頭発表、ポスター発表のいずれかを希望することができます。ただし、演題数、会場の関係でご希望に沿えない場合があります。領域横断セッションはポスター発表のみです。

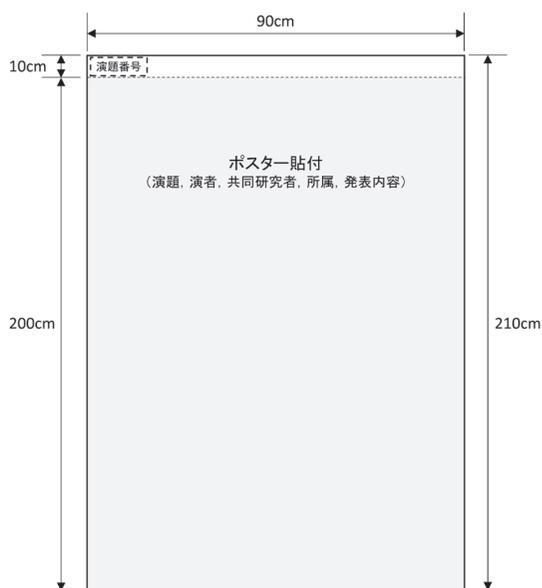
発表時間などの詳細は、大会プログラムにてお知らせします。

#### 【口頭発表】

口頭発表に関するパソコン環境等の詳細につきましては、後日大会ホームページにてお知らせします。

#### 【ポスター発表】

1. ポスターパネルのサイズは90cm（横）×210cm（縦）です。左上角には大会事務局が用意する演題番号を貼付します。演題番号以外のスペースに各自ポスターを貼付してください。ポスターは上から順に演題、演者、共同研究者、所属、発表内容を記載してください。なお、押しピンまたはテープは大会事務局が用意いたします。



2. 発表者は、各専門領域および組織委員会が指定する責任時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と討論してください。座長がいる場合には、その指示に従ってください。
3. 撤去は所定の時間に行ってください。撤去時間を過ぎても残っている場合には事務局にて撤去・廃棄いたしますのでご了承ください。

※詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。

#### 6) 発表の取り下げ

2019年5月31日(金)までに日本体育学会第70回大会事務局にメールにてご連絡ください。上記期日以降に、不測の事態により発表が不可能となった場合は、速やかに大会事務局まで発表取り下げもしくは演者変更（共同研究者による代理発表）の申し出を行ってください。

日本体育学会第70回大会事務局メールアドレス：jimu\_jspe70-group@keio.jp

### 7. 大会参加費一覧

事項		金額
事前申込参加費 (5月17日まで)	会員	8,000円
	非会員	9,000円
	学生(非会員を含む)	3,000円
当日参加費 (5月18日以降)	会員	10,000円
	非会員	11,000円
	学生(非会員を含む)	5,000円
特別共同研究者参加費		10,000円
情報交換会		1,000円
予稿集(冊子体)		2,000円

#### 注意事項

- ※大会参加費のお支払いは、「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」、「ペイジー決済」が利用できます。参加申し込みサイトで後日ご案内します。
- ※演者および共同研究者は、「会員」または「学生」の金額となります。
- ※名誉会員は、発表の有無にかかわらず大会参加費は無料となります。
- ※当日参加の学生は、大会当日の受付に身分を証明できるもの（学生証など）を提示してください（提示のない場合は、会員または非会員扱いとなります）。
- ※参加費納入後、大会参加をキャンセルされた場合は返金いたしかねますのでご了承ください。
- ※事前申込参加費の納入期限後（5月18日以降）は、当日参加費でのお支払いとなります。

## 8. 大会までのスケジュール

事項	締め切り日等
特別共同研究者申請	4月26日(金)
事前参加申し込み	5月17日(金) 13:00 まで
研究発表申し込み(予稿集原稿の提出および修正)	5月17日(金) 13:00 まで
大会参加費支払い	5月17日(金)
研究発表取り下げ・共同研究者および特別共同研究者取り下げ	5月31日(金)
大会プログラム送付	8月上旬
予稿集のWEB上での公開	8月上旬

## 9. 派遣依頼書

派遣依頼書の必要な方は、本案内に綴じ込みの依頼書をご利用ください。

## 10. 託児所の開設

大会期間中に、託児所を開設する予定です。託児所の詳細につきましては、大会ホームページでご案内いたします(有料となります)。

## 11. 宿泊・交通

宿泊と交通については、本案内に掲載の「宿泊・交通のご案内」をご覧ください。

## 12. 車での来校

外来者用駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。

なお、障がい者用駐車スペースにつきましては、別途対応いたします。

## 13. 大会事務局

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学体育研究所内

日本体育学会第70回大会事務局 E-mail: jimujspe70-group@keio.jp

※学会大会期間中の事務局については、大会ホームページでご確認ください。

## 14. 参加登録システム

大会参加登録システムは、日本体育学会事務局で運営いたします。参加および発表申し込み方法、参加費の支払いに関する問い合わせは下記へお願いいたします。

E-mail: taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp

なお、メールアドレスを学会事務局と大会事務局で間違えないようご注意ください

# 大会予稿集原稿作成要項

大会予稿集原稿は、「一般研究発表申し込み」または「大会参加者マイページ」から、画面の指示にしたがって入力していただきます。申し込み画面は、一定時間が経過するとタイムアウトとなりますので、以下の項目に注意し、あらかじめ原稿をご用意の上、手続きを行ってください。

## 1. 原稿の形式、書式

原稿は、文字（テキスト）のみとし図表や写真等を含めることはできません。また肩文字、斜字体等の修飾文字は使用できません。句読点は「、」と「。」を使用してください。

## 2. 発表情報の登録内容

①希望する発表形式（一般研究発表のみ）：口頭発表 / ポスター発表（ご希望に沿えない場合があります）※領域横断セッションはすべてポスター発表となります。

②専門領域（一般研究発表のみ）：15 専門領域から選択可能です。

③コード番号（一般研究発表のみ）：「一般研究発表のコード表」をご参照ください。

※領域横断セッションは、3つのキーワード（オリンピック・パラリンピック、大学生、トレーニング）から選択してください。

④演題：全角 50 文字以内（改行なし）で入力してください。

⑤副題：全角 48 文字以内（改行なし）で入力してください。

※副題の先頭と末尾に「～」「ー」等を使用しないでください。

⑥本文：総文字数全角 500 文字以内で入力してください。改行後の空白も文字数に含まれます（予稿集印刷時に 50 文字×10 行におさまるようにしてください）。

⑦演者および所属：共同研究者の人数は最大 9 名迄です。入力フォームにしたがい、必ず予稿集に記載する順番で入力してください。その際、共同研究者の氏名の表記は、共同研究者の参加申し込みと同一の漢字を使用してください。「桜」と「櫻」等異なる漢字を用いると共同研究者が未登録と判断されます。

所属は演者、共同研究者ともに 19 文字以内でそれぞれ入力してください。その際、略記を使用してもかまいません（例：慶應義塾大、慶應義塾大大学院）。

※登録氏名の漢字に不備があった場合は、学会事務局にて会員登録氏名に統一いたします。また外字は常用漢字といたしますので、ご了承ください。

※詳細については、大会ホームページの入力フォームにしたがってください。

**（重要！）**

発表申し込みおよび大会予稿集原稿の締め切りは、2019 年 5 月 17 日（金）13：00 までです。締め切り後は、予稿集原稿の修正は出来かねますので、原稿内容を十分にご確認の上、お申し込みください。

また、締め切りまでに申し込みがなかった場合、大会発表は認められません。

# 一般研究発表のコード表

1. コード番号 一般研究発表の演者は、以下に示す「コード表」にしたがって、その研究が該当する番号を選択し、申し込み時に画面の指示にしたがって入力してください。
2. 注意事項
  - ①記入もれ・誤記入のあった場合は、原則として採択されません。
  - ②「体育哲学」「体育史」「体育経営管理」「発育発達」「体育方法」「体育科教育学」は、綱・目を組み合わせてコード番号とします。
  - ③2桁の綱目番号となることもあるので注意してください。

体育哲学				
類	綱	目	コード番号	
体育哲学	身体教育(体育)		0 00	
	学校体育		0 01	
	身体・心身関係		0 02	
	人間運動		0 03	
	スポーツ		0 04	
	競争・ゲーム・ルール		0 05	
	舞踊		0 06	
	武道		0 07	
	遊戯(プレイ)		0 08	
	祭祀・習俗		0 09	
	技術・技法		0 10	
	健康・体力		0 11	
	余暇(レジャー)		0 12	
	オリンピック・スポーツイベント		0 13	
	時事問題		0 14	
その他		0 15		
<注> 綱と目を組み合わせてコード番号とする。	概念論・本質論研究		00	
	理念論・価値論研究		01	
	認識論・方法論研究		02	
	哲学理論・思想史的研究		03	
	倫理学的研究		04	
	美学的研究		05	
	文化論的・構造論的研究		06	
	記号学的・意味論的研究		07	
	表現論的・シンボル論的研究		08	
	言語論的・文芸学的研究		09	
	人間学的・教育学的研究		10	
	メディア論的・映像論的研究		11	
	文献学的・情報学的研究		12	
	制度論的・比較論的研究		13	
	研究動向		14	
	その他		15	
体育史				
類	綱	目	コード番号	
体育史	体育史の理論・方法		1 0 0	
	学校の体育・スポーツ・身体文化		1 1	
	学校以外の体育・スポーツ・身体文化		1 2	
	国際スポーツイベント・ムーブメント		1 3	
	体育・スポーツ・身体文化の特定領域		1 4	
	複合的領域、その他		1 5	
	<注> 綱と目を組み合わせてコード番号とする。	哲学、思想		1
		教育学		2
		教員・指導者養成		3
		実践・指導法		4
		カリキュラム		5
		健康、体力、体格、保健、衛生		6
		グローバル化、(インター)ナショナリズム、スポーツの伝播・受容		7
		開発と平和		8
		運動事故・安全教育		9
	運動会・祭礼・レジャー		10	
	技術・戦術		11	
	法律、ルール、倫理		12	
	文化		13	
	体育・スポーツ組織		14	
	体罰・暴力		15	
	メディア、マスコミ		16	
	戦争・ファシズム		17	
	レガシー		18	

		女性		19
		ジェンダー		20
		ドーピング		21
		人物		22
		オーラルヒストリー		23
		その他		24
体育社会学				
類	綱	目	コード番号	
体育社会学	体育社会学の基礎理論	総説, 一般, 原理	2	0 0
		研究法	2	0 1
	体育・スポーツ・プレイと文化・社会	総説, 一般, 原理	2	1 0
		文化(宗教・思想・芸術等), 文化圏, 民族, 国家	2	1 1
		文化変容, 社会変動	2	1 2
		社会成層, 社会的移動, 人口	2	1 3
		政治, 制度, 行政, 企画, 管理, 運営, 組織, 施設	2	1 4
		教育, 学校, 指導, 教師	2	1 5
		地域社会, 都市, 農村, 家族	2	1 6
		経済, 労働, 職場	2	1 7
		マス・コミュニケーション, マス・メディア	2	1 8
		レジャー, レクリエーション	2	1 9
	体育・スポーツ・プレイの構造	総説, 一般, 原理	2	2 0
		マナー, 規範, 価値	2	2 1
		集団	2	2 2
	体育・スポーツ・プレイの社会心理学的研究	大会, 選手	2	2 3
		総説, 一般, 原理	2	3 0
		モラル, 集団意識, 凝集性	2	3 1
	社会問題	社会的性格, パーソナリティ, 動機, 意識, 態度, イメージ, 行動	2	3 2
		社会的発達, 社会化	2	3 3
関連調査資料	社会問題	2	4 0	
その他	関連調査資料	2	5 0	
その他	その他	2	6 0	
体育心理学				
類	綱	目	コード番号	
体育心理学	原理	理論	3	0 0
		歴史	3	0 1
		研究方法論	3	0 2
		その他	3	0 3
		運動学習	運動制御	3
	運動学習	運動学習	3	1 1
	認知情報処理	認知情報処理	3	1 2
	認知訓練	認知訓練	3	1 3
	技能評価・フィードバック	技能評価・フィードバック	3	1 4
	学習過程・練習法	学習過程・練習法	3	1 5
	その他	その他	3	1 6

動機づけ	スポーツ・運動参加	3	2	0
	運動の楽しさ・運動嫌い	3	2	1
	内発的動機づけ	3	2	2
	達成目標	3	2	3
	覚醒とパフォーマンス	3	2	4
	原因帰属	3	2	5
	その他	3	2	6
パーソナリティ	パーソナリティテスト	3	3	0
	自我・自己概念	3	3	1
	自己実現・個性化	3	3	2
	パーソナリティ特性と適性	3	3	3
	パーソナリティ形成(変容・発達)	3	3	4
	運動・スポーツ行動	3	3	5
	態度	3	3	6
その他	3	3	7	
社会心理	集団特性	3	4	0
	リーダーシップ	3	4	1
	ライフスキル	3	4	2
	社会性と社会的影響	3	4	3
	ジェンダー	3	4	4
	対人認知・影響	3	4	5
	コミュニケーション	3	4	6
	チームビルディング	3	4	7
その他	3	4	8	
発達	発達段階	3	5	0
	身体と運動の発達	3	5	1
	運動遅滞	3	5	2
	認知・情動の発達	3	5	3
	社会的発達	3	5	4
	ライフサイクル	3	5	5
	運動と遊び	3	5	6
その他	3	5	7	
指導実践	個人差・学習者の特性	3	6	0
	体育指導者	3	6	1
	スポーツ指導者	3	6	2
	ゲーム分析	3	6	4
	指導効果	3	6	5
	指導言語	3	6	6
	学習指導行動の観察・分析	3	6	7
	その他	3	6	8
健康心理	メンタルヘルス	3	7	0
	心理社会的効果	3	7	1
	ストレスマネジメント	3	7	2
	疾病(生活習慣病) 予防	3	7	3
	運動行動の決定因	3	7	4
	行動変容・介入	3	7	5
	運動処方	3	7	6
その他	3	7	7	
心理支援	心理査定・診断	3	8	0
	適応(個人・集団)	3	8	1
	問題(問題行動)	3	8	2

		カウンセリング	3	8	3
		心理療法	3	8	4
		運動療法	3	9	5
		キャリアアトランジション	3	9	6
		その他	3	9	7
運動生理学					
類	綱	目	コード番号		
運動生理学	神経-筋機能	運動の制御	4	00	0
		反射・反応時間	4	00	1
		筋感覚	4	00	2
		平衡能	4	00	3
		調整・運動技術	4	00	4
		筋収縮	4	00	5
		筋力, パワー	4	00	6
		筋持久力	4	00	7
		筋組成・エネルギー特性	4	00	8
	学習・トレーニング効果	4	00	9	
	呼吸-循環機能	心臓機能 (心拍出量, 心電図, 心拍数等を含む)	4	01	0
		血圧・血管等	4	01	1
		末梢循環	4	01	2
		肺機能	4	01	3
		組織呼吸・エネルギー代謝	4	01	4
		全身持久力	4	01	5
	体液調節機能	トレーニング効果	4	01	6
		調節中枢	4	02	0
		組織液・血液量	4	02	1
		腎機能	4	02	2
	内分泌機能	トレーニング効果	4	02	3
		ホルモン	4	03	0
		内分泌調節	4	03	1
	体力	トレーニング効果	4	03	2
		形態, 姿勢, 組成, 遺伝	4	04	0
		運動能力	4	04	1
		競技体力	4	04	2
		男女差	4	04	3
		年齢差	4	04	4
		高年体力	4	04	5
	運動処方	4	04	6	
	環境	トレーニング効果	4	04	7
		低圧 (高地)	4	05	0
高圧 (潜水・水中)		4	05	1	
温度, 湿度, 風圧		4	05	2	
疲労	ストレス, 温・冷刺激	4	05	3	
	疲労現象	4	06	0	
	疲労測定	4	06	1	
コンディショニング	積極休養	4	07	0	
	睡眠	4	07	1	
	ウオーム・アップ	4	07	2	
	その他	4	07	3	
体温調節	調節中枢	4	08	0	

		皮膚温・深部温	4	08	1			
		温熱性発汗	4	08	2			
スポーツ生理学		陸上競技	4	09	0			
		体操競技	4	09	1			
		水泳競技	4	09	2			
		球技	4	09	3			
		格技	4	09	4			
		その他	4	09	5			
スポーツ医学		健康管理	4	10	0			
		内科的疾患	4	10	1			
		外科的障害	4	10	2			
		ドーピング等	4	10	3			
スポーツ栄養学		消化・吸収の生理学	4	11	0			
		糖質・脂質・タンパク質	4	11	1			
		ビタミン	4	11	2			
		水・ミネラル等	4	11	3			
		その他	4	11	4			
測定法, 機器の開発		エルゴメトリー	4	12	0			
		その他	4	12	1			
その他			4	13	0			
バイオメカニクス								
類	綱	目	コード番号					
バイオメカニクス	測定・分析法	画像動作計測	5	0	0			
		非画像動作計測 (加速度センサー, GPS 等)	5	0	1			
		力・圧力計測	5	0	2			
		筋電図法	5	0	3			
		モデリング・シミュレーション	5	0	4			
		その他	5	0	5			
	運動機能		筋出力	5	1	0		
			神経支配	5	1	1		
			エネルギー源	5	1	2		
			運動効率	5	1	3		
			制御・調節	5	1	4		
	平衡運動		その他	5	1	5		
			姿勢	5	2	0		
			重心	5	2	1		
	移動運動		その他	5	2	2		
			這う	5	3	0		
			歩く	5	3	1		
			走る	5	3	2		
			跳ぶ	5	3	3		
			泳ぐ	5	3	4		
			滑る	5	3	5		
			その他	5	3	6		
			投打運動		投げる	5	4	0
					蹴る	5	4	1
					打つ	5	4	2
	押す	5			4	3		
	持つ	5			4	4		
	こぐ	5			4	5		

		その他	5	4	6
その他の運動		落ちる	5	5	0
		潜る	5	5	1
		回る	5	5	2
		舞う	5	5	3
		受けとめる	5	5	4
		その他	5	5	5
環境・設備用具		力学的特性	5	6	0
		解剖学的特性	5	6	1
		生理学的特性	5	6	2
		その他	5	6	3
運動技術		技術の習熟	5	7	0
		技術の指導	5	7	1
		その他	5	7	2
体育経営管理					
類	綱	目	コード番号		
体育経営管理 学の原理 と研究方法		概念（体系論を含む）	6	0	00
		歴史・思想	6	0	01
		研究方法	6	0	02
		その他原理と研究方法	6	0	03
領域	学校体育		6	1	
	地域スポーツ		6	2	
	公共スポーツ施設		6	3	
	商業スポーツ施設		6	4	
	職場スポーツ		6	5	
	プロ・競技スポーツ		6	6	
	スペクテイタースポーツ		6	7	
	複合・総合領域		6	8	
体育経営管理	〈注〉 綱と目を組み合わせてコード番号とする。	経営体	体育・スポーツ経営体		00
			経営者・管理者・指導者		01
			経営資源		02
			その他		03
	事業	体育・スポーツ事業全般		10	
		エリア・サービス		11	
		プログラム・サービス		12	
		クラブ・サービス		13	
		インフォメーション・サービス		14	
		その他		15	
	運動者	運動者・運動者行動		20	
		運動生活		21	

		その他			22	
機能と過程		体育・スポーツ経営の過程			30	
		目標・戦略・計画			31	
		組織			32	
		統制・評価			33	
		リーダーシップ			34	
		財務・事務			35	
		その他			36	
		マーケティング			40	
		経営全般			50	
		体育・スポーツ行・財政	政策	6	9	00
法	6		9	01		
行・財政	6		9	02		
その他	6		9	03		
運動安全・管理	運動事故一般（安全対策を含む）	6	9	10		
	運動事故の法的責任	6	9	11		
	運動事故の補償	6	9	12		
	その他	6	9	13		
発育発達						
類	綱	目	コード番号			
発育発達		新生児，乳幼児	7	0		
		幼児，児童	7	1		
		児童，思春期	7	2		
		思春期，青年期	7	3		
		青年期，成人（中・老年・老年を含む）	7	4		
		民族	7	5		
		動物	7	6		
		器官，組織	7	7		
		複合	7	8		
		その他	7	9		
		〈注〉 綱と目を組み合わせてコード番号とする。	形態・構造			0
			機能（生理的・物理的）			1
			運動能力			2
			精神・心理			3
			生理			4
成熟				5		
生活（運動，遊び，食事等）				6		
複合				7		
その他			8			
測定評価						
類	綱	目	コード番号			
測定評価	測定法	形態（体格，体型，姿勢等）	8	0	0	
		身体組織（皮脂厚，体脂肪量，LBM等）	8	0	1	
		機能（体力，生理機能，スキル等）	8	0	2	

	その他	8	0	3	
組テスト	スポーツテスト	8	1	0	
	体力テスト	8	1	1	
	運動能力テスト	8	1	2	
	スキルテスト	8	1	3	
	その他	8	1	4	
測定機器	フィールドテスト用	8	2	0	
	ラボラトリーテスト用	8	2	1	
	その他	8	2	2	
測定・調査	幼児，児童，生徒，学生	8	3	0	
	青少年，中高年，高齢者	8	3	1	
	競技者	8	3	2	
	国際比較	8	3	3	
	その他	8	3	4	
統計処理	検定	8	4	0	
	相関・回帰	8	4	1	
	多変量解析（因子分析等）	8	4	2	
	統計処理システム	8	4	3	
	その他	8	4	4	
標準値・基準値	性，年齢別	8	5	0	
	職業別	8	5	1	
	地域別	8	5	2	
	その他	8	5	3	
評価法	形態評価	8	6	0	
	身体組成評価	8	6	1	
	体力評価	8	6	2	
	運動能力評価	8	6	3	
	スキル評価	8	6	4	
	体育評価	8	6	5	
	その他	8	6	6	
調査法	健康診断（メディカルチェック等）	8	7	0	
	質問紙法	8	7	1	
	面接法	8	7	2	
	その他	8	7	3	
	その他	文献的研究	8	8	0
測定評価論		8	8	1	
その他		8	8	2	
体育方法					
類	綱	目	コード番号		
体育方法	体育・スポーツ方法の総論・研究方法について		9	00	00
	指導内容について	体力面	9	10	
		技術・戦術面	9	11	
		精神・心理面	9	12	
		上記の複合・その他	9	13	
	指導方法について	体力面	9	20	
		技術・戦術面	9	21	
		精神・心理面	9	22	
		上記の複合・その他	9	23	

管理運営について	組織・チーム		9	30			
	競技団体・ナショナルチーム		9	31			
	施設・用器具・資金		9	32			
	審判法・ルール		9	33			
	上記の複合・その他		9	40			
	<注> 綱と目を組み合わせてコード番号とする。	と競技を主目的とする	個人種目			10	
			集団種目			11	
		発を主目的とする	上記の複合・その他				12
			個人種目				20
			集団種目				21
上記の複合・その他						22	
復を主目的とする	個人種目				30		
	集団種目				31		
	上記の複合・その他				32		
目的とする	個人種目				40		
	集団種目				41		
	上記の複合・その他				42		
保健							
類	綱	目	コード番号				
保健	健康教育	歴史	10	0	0		
		方法・原理	10	0	1		
		教材	10	0	2		
		性教育	10	0	3		
		精神健康・ストレス	10	0	4		
		食育	10	0	5		
		喫煙・飲酒・薬物乱用防止	10	0	6		
		生活習慣・ライフスタイル	10	0	7		
		その他	10	0	8		
		保健学習	カリキュラム	10	1	0	
	学力・評価		10	1	1		
	授業開発		10	1	2		
	教員養成		10	1	3		
	現職教育		10	1	4		
	学校保健管理	その他	10	1	5		
		保健計画・運営	10	2	0		
		保健指導	10	2	1		
		健康相談	10	2	2		
健康診断		10	2	3			
疾病対策		10	2	4			
いじめ対策		10	2	5			

		環境管理	10	2	6
		その他	10	2	7
地域保健		健康施策	10	3	0
		健康プログラム	10	3	1
		その他	10	3	2
産業保健		健康施策	10	4	0
		健康プログラム	10	4	1
		その他	10	4	2
保健運動		幼児運動	10	5	0
		成人運動	10	5	1
		レクリエーション	10	5	2
		その他	10	5	3
学校安全		安全教育	10	6	0
		安全管理	10	6	1
		交通安全・防災・防犯	10	6	2
		救急看護	10	6	3
		スポーツ傷害	10	6	4
		その他	10	6	5
体育科教育学					
類	綱	目	コード番号		
体育科教育学		カリキュラム論	11	1	
		教授・学習指導論	11	2	
		体育教師教育論	11	3	
		科学論, 研究方法論	11	4	
		〈注〉			00
		綱と目を組み合わせてコード番号とする.			01
					02
					03
				04	
				05	
スポーツ人類学					
類	綱	目	コード番号		
スポーツ人類学		アジア研究	12	0	0
		アフリカ研究	12	1	0
		アメリカ研究	12	2	0
		オセアニア研究	12	3	0
		ヨーロッパ研究	12	4	0
		日本研究	12	5	0
		総論的研究	12	6	0
アダプテッド・スポーツ科学					
類	綱	目	コード番号		
		体力・運動能力の向上	13	00	0
		健康の維持・増進	13	01	0

アダプテッド・スポーツ科学		指導法の改善・開発	13	02	0
		ゲーム・スポーツの開発・普及	13	03	0
		測定法・評価法の開発	13	04	0
		マネジメントと普及	13	05	0
		施設・設備・器具の改善開発	13	06	0
		インクルーシブ体育の推進	13	07	0
		リハビリテーション	13	08	0
		エリート・スポーツと競技スポーツ	13	09	0
		理念と意義	13	10	0
		国際協力	13	11	0
		その他	13	12	0
介護福祉・健康づくり					
類	綱	目	コード番号		
介護福祉・健康づくり	人文・社会	法律・制度・規則	14	0	0
		人文・社会・経済・文化	14	0	1
	生活・活動	身体	14	1	0
		動作	14	1	1
		体力	14	1	2
		精神・心理	14	1	3
		認知・行動	14	1	4
	健康づくり	健康づくり	14	2	0
		運動・身体活動	14	2	1
		トレーニング	14	2	2
	環境・衛生	環境・衛生	14	3	0
		栄養・食事	14	4	0
	介護・支援	介護・支援・ケア	14	5	0
		養護・支援・教育	14	5	1
	医療・リハビリ		14	6	0
機器・用品	福祉機器・介護用品	14	7	0	
	トレーニング機器	14	7	1	
創意・工夫	新しい試み・工夫・実践	14	8	0	
	組織・ネットワーク	14	8	1	

# コード表に関するお問い合わせ先

コード表に関するご質問・ご意見は、直接、下記の専門領域事務局にお問い合わせください。

専門領域	事務局所在地 (担当者) E-mail	電話 F A X
体 育 哲 学 〒 263-8588	千葉県稲毛区六川 1-5-21 敬愛大学経済学部 高岡英氣 気付 日本体育学会体育哲学専門領域事務局 (高岡英氣) bureau@pdpe.jp	043-251-6363 (代表)
体 育 史 〒 245-8650	横浜市泉区緑園 4-5-3 フェリス学院大学国際交流学部 (和田浩一) taiikushi_office@taiikushi.org	045-812-4287 045-812-8312
体 育 社 会 学 〒 352-8558	新座市北野 1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部松尾研究室 (松尾哲矢) tmatsuo@rikkyo.ne.jp	048-471-7345 048-471-7345
体 育 心 理 学 〒 153-8902	目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 日本体育学会体育心理学専門領域事務局 (工藤和俊) taiiku_shinri@idaten.c.u-tokyo.ac.jp	03-5454-6854 03-5454-4317
運 動 生 理 学 〒 183-8509	府中市幸町 3-5-8 東京農工大学大学院農学研究院 健康アメニティ科学研究室 (福本寛之) fukumoto@go.tuat.ac.jp	042-367-5644 042-367-5644
バイオメカニクス 〒 470-0393	豊田市貝津町床立 101 中京大学スポーツ科学部内 (桜井伸二, 田内健二) jsb@ml.chukyo-u.ac.jp	0565-46-1211
体 育 経 営 管 理 〒 305-8574	つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系 (清水紀宏) shimizu.norihiro.fu@u.tsukuba.ac.jp	029-853-6369 029-853-6369
発 育 発 達 〒 158-8508	世田谷区深沢 7-1-1 日本体育大学 (野井真吾) nois@nittai.ac.jp	03-5706-1543 03-5706-1543
測 定 評 価 〒 921-8836	野々市市末松 1-308 石川県立大学教養教育センター (宮口和義) kaz-jac@ishikawa-pu.ac.jp	076-227-7493
体 育 方 法 〒 305-8574	つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系 (長谷川聖修) office@jcoaching.jp (日本コーチング学会事務局)	029-853-6328 029-853-6507
保 健 〒 305-8574	つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系 (野津有司) nozu.yuji.gf@u.tsukuba.ac.jp	029-853-2658 029-853-2658
体 育 科 教 育 学 〒 154-8515	世田谷区世田谷 4-28-1 国土館大学文学部 (細越淳二) hosogoe@kokushikan.ac.jp	03-5451-8162 03-5451-8162
ス ポ ー ツ 人 類 学 〒 370-1193	佐波郡玉村町上之手 1395-1 群馬県立女子大学文学部一階研究室 (一階千絵) supojin.senmon@gmail.com	0270-65-8511 0270-65-9538
ア ダ プ テ ッ ド ・ ス ポ ー ツ 科 学 〒 305-8574	つくば市天王台 1-1-1 筑波大学アダプテッド体育・スポーツ学研究室 (齊藤まゆみ) jspehss-ads@qs.main.jp	029-853-2662 029-853-2662
介 護 福 祉 ・ 健 康 づ く り 〒 438-0043	磐田市大原 1572-1 静岡産業大学スポーツ教育研究所 (館俊樹) tachi@ssu.ac.jp	0538-36-8985 0538-36-8800

## よくあるご質問

お問い合わせが多いご質問をまとめましたので、まずは以下をご確認ください。その他、申し込み方法および参加費に関してご不明な点等ございましたら、日本体育学会事務局（taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp）までお問い合わせください。

### 【発表について】

#### Q. 会員ではありませんが、発表の申し込みはできますか？

- A. できません。発表者および共同研究者は本学会会員に限ります。  
非会員の場合には、発表申し込みと併せて入会申し込みの手続きをお願いいたします。  
※発表申し込みに関しては、必ず5月17日(金)13:00までにお申し込みください。  
入会申し込みに関しては、5月末までに以下のサイトから会員登録及び初年度会費の納入を完了させてください。（日本体育学会 HP > 入会・各種手続：<http://taiiku-gakkai.or.jp/admission>）

#### Q. 共同研究者の条件はありますか？

- A. 本学会会員で、共同研究者も学会大会への事前参加申し込みの手続きを行ってください（年度会費と大会参加費が発生します）。また、学部生を共同研究者として登録することはできませんが、以下の特別共同研究者として申請し承認された場合は、この限りではありません。

#### Q. 特別共同研究者とは何ですか？

- A. 本学会以外で他の学会に所属する研究者は、理事会での審議を経て、特別共同研究者として登録することができます。承認された場合には、会員登録は免除されますが、大会参加登録及び参加費の納入は必要となります。（申請期間：4月26日(金)まで）

#### Q. 特別共同研究者登録を行い、発表者として発表申し込みはできますか？

- A. できません。発表者は、本学会会員に限ります。

#### Q. 学部生も発表できますか？

- A. 学部生は、発表者及び共同研究者になることができません。但し、条件を満たしている場合には、特別共同研究者になることができます。

#### Q. 学術雑誌等に掲載された内容を発表することはできますか？

- A. できません。未発表のものに限ります。

#### Q. 予稿集原稿は、どこから入稿できますか？

- A. 一般研究発表の申し込みまたは、大会参加者マイページから入力していただきます。

事前に、大会予稿集原稿作成要項をお読みいただき、原稿をご準備の上、発表申し込みの手続きを行ってください。

**Q. 専門領域に所属していなくても、発表はできますか？**

A. 可能です。本学会会員であれば、どこの専門領域で発表していただいても問題ありません。

**Q. 発表日の指定・変更はできますか？**

A. 原則、発表日の指定・変更はできません。不明な点がありましたら、一般研究発表の場合は発表される専門領域事務局、領域横断セッションの場合は大会事務局に、直接お問い合わせください。

**Q. 5月31日以降に、緊急の事情により発表ができなくなりましたが、どうすれば良いですか？**

A. 必ず、第70回大会事務局（jimu\_jspe70-group@keio.jp）までご連絡をお願いします。なお、共同研究者に限り、代理発表が可能となりますので、演者変更を希望される場合は、大会事務局までご連絡ください。

**【参加・発表申し込みについて】**

**Q. 参加・発表申し込みが完了できているか確認できますか？**

A. 申し込みが完了した場合には、ご登録のメールアドレス宛に“日本体育学会第70回大会 参加登録完了のお知らせ”メールが通知されます。

**Q. 参加・発表申し込みを行ったが、お知らせメールが届きません。**

A. 迷惑フォルダーに入っている可能性がありますので、ご確認ください。  
迷惑フォルダーに入っていない場合には、登録ができていない可能性がございますので、ご登録時のメールアドレスを記載の上、日本体育学会事務局（taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp）まで、ご連絡ください。

**Q. 登録情報をマイページで変更できません。**

A. マイページで変更できるのは、“発表情報”にかかわる項目のみとなります。  
連絡先情報等の変更がある場合には、日本体育学会事務局（taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp）まで、ご連絡ください。

**Q. 発表者と共同研究者の両方で参加する場合には、両方の申込が必要ですか？**

A. 発表者としての申込のみで大丈夫です。

**【参加費について】 ※年度会費とは異なります**

**Q. 参加費の金額を教えてください。**

A. 本誌 P.7 をご確認ください。 ※学生は、学生証など身分を証明できるものを提示いただく場合がございます。

**Q. 参加費の領収書を発行してもらえますか？**

A. 領収書は、プログラム及び参加証の郵送時に同封する予定です。

**Q. 参加費の支払方法を教えてください。**

A. 参加・発表申し込み時に、「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」「ペイジー決済（銀行・郵便局・ネットバンキング）」のいずれかを選択していただきます。各決済方法に関しては、大会ホームページで後日ご案内いたします。

**Q. 申し込み後、参加費の決済方法の変更はできますか？**

A. できません。ご不明な点がございましたら、日本体育学会事務局（taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp）まで、ご連絡ください。

**Q. 「コンビニ決済」または「ペイジー決済」の支払期限を過ぎてしまいました。**

A. 登録状況を確認いたしますので、必ず日本体育学会事務局（taiiku70@taiiku-gakkai.or.jp）まで、ご連絡ください。

【年度会費について】 ※参加費とは異なります

**Q. 年度会費の金額を教えてください。**

A. 本部会費 10,000 円 + 所属地域協力学会会費（任意） + 所属専門領域会費（任意）となります。登録状況は、体育学会のマイページよりご確認ください。（日本体育学会 HP > 会員マイページにログイン）

※大会参加マイページと体育学会マイページはサイトが異なりますので、ご注意ください。

**Q. 年度会費の納入期限についても参加費の締切日と同じでしょうか？**

A. 自動払込制度を利用いただいている場合には、例年通り、7月に自動引落を行います。振込の場合も上半期中にお振り込みをお願いいたします。

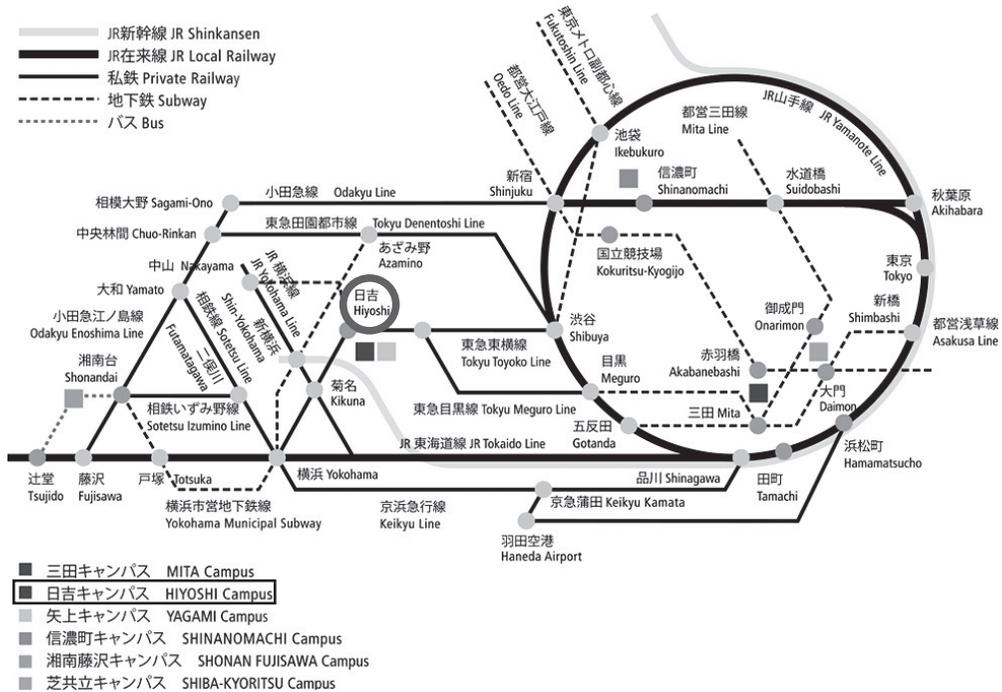
# 宿泊・交通のご案内

今大会では、交通及び宿泊等に関して、旅行代理店によるご案内は致しません。

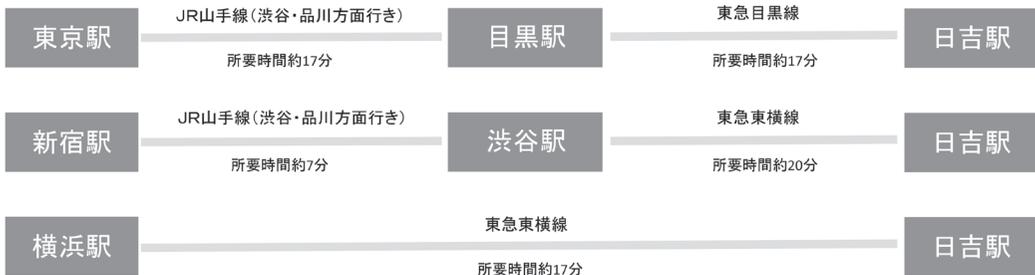
会場となる慶應義塾大学日吉キャンパスは、横浜駅、渋谷駅、東京駅、品川駅等からのアクセスが比較的容易でありますので、以下のご案内をご活用ください。

## 【会場】

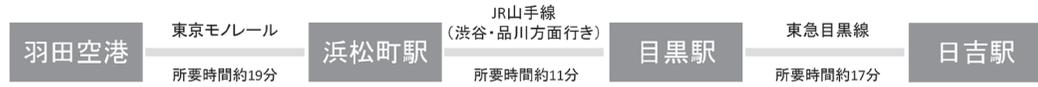
●慶應義塾大学日吉キャンパス 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1  
 日吉駅（東急東横線、東急目黒線／横浜市営地下鉄グリーンライン）徒歩1分  
 ※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。



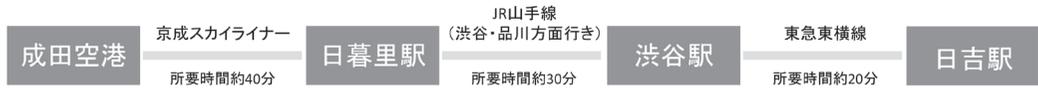
## 【主要駅からのアクセス】



## 【空港からのアクセス】



運賃：約 850 円



運賃：約 3000 ~ 3500 円



2019年4月1日

様

一般社団法人日本体育学会  
会長 深代千



日本体育学会第70回大会組織委員会  
委員長 石手



## 日本体育学会第70回大会派遣方（依頼）について

本学会は、昭和25年に創設されて以来、健康や体育・スポーツに関する問題について多角的にかつ常に進取の気鋭をもって取り組んでまいりました。この度、これらの研究の成果を発表する「日本体育学会第70回大会」を下記の通り開催することになりました。

つきましては、貴所属 様をご派遣くださいます  
よう、お願いいたします。

### 記

1. 主催 一般社団法人日本体育学会  
日本体育学会 第70回大会組織委員会
2. 主管 慶應義塾大学
3. 日程 2019年9月10日(火)～12日(木)
4. 会場 慶應義塾大学日吉キャンパス

以上